

導入事例

Hitachi Energy (日立エナジー)



Kardexが提供する AutoStore™

会社名

Hitachi Energy(日立エナジー)

所在地

スイス・チューリッヒ

適用分野

スペアパーツのハンドリング

Kardex、AutoStoreによりチューリッヒのHitachi Energy高電圧サービス倉庫を最適化

スイス・チューリッヒ州ディートリコン拠点におけるスペアパーツ事業の再編にあたり、Hitachi Energyは、革新性・持続可能性・高い柔軟性を兼ね備えたソリューションを求めています。グローバルなAutoStoreパートナーであり、イントラロジスティクス専門家であるKardexは、最も説得力のあるトータルパッケージを提示し、全自動AutoStore™スペアパーツ倉庫の設計および導入を担当することとなりました。

最大1,200kVまでの幅広い高電圧製品を提供する高電圧技術分野のグローバルリーダーであるHitachi Energyは、電力ネットワークの安全性・信頼性・効率性の向上と環境負荷の低減に貢献しています。KardexのAutoStoreソリューションが導入されるディートリコン拠点は、「高電圧製品」事業部におけるサービス部品ビジネスの中核拠点として、入荷・検品、保管、ピッキング、梱包、出荷に至るまで、すべてのプロセスを担っています。

「物流プロセスの最適化と既存スペースの有効活用を実現するため、私たちはAutoStoreという最適なソリューションと、Kardexという理想的なパートナーを見出しました。」

Patrick Looser(パトリック・ルーザー), **Hitachi Energy** サービス・ロジスティクスセンター責任者

持続可能で柔軟性が高く、極めて高効率なソリューション

Hitachi Energy向けAutoStoreソリューションのカスタマイズ設計にあたり、Kardexは計画段階で実データを用いた複数回のシステムシミュレーションを実施しました。サービス部品のピッキングおよび入庫に必要な稼働時間をはじめ、各種要件に基づく検証結果を反映し、650 x 450 x 220mm (長さ×幅×高さ)のビンを合計3,250個収容可能なシステム構成が策定されました。第1次拡張フェーズでは、グリッドに3,000個のビン、2台の「Red Line (R5)」ロボット、2基のコンベヤーポートを搭載します。現在、さらなるシステム拡張も計画中です。倉庫管理システム(WMS)であるKardex Control Centerが、複数の倉庫システムを統合管理し、関連プロセスの最適化を実現します。「新しいAutoStoreスペアパーツ倉庫の導入により、サービス部品の可用性が向上し、顧客ニーズにこれまで以上に柔軟に対応するとともに、受注処理のさらなる迅速化が可能になります。さらに、持続可能な技術のパイオニアとして、AutoStoreへの投資は、当社にとって新たな重要なマイルストーンとなります。」

Hitachi Energyは、持続可能なエネルギーの未来に向けた取り組みを積極的に進めており、AutoStoreテクノロジーはその実現に大きく貢献します。AutoStoreロボット10台の消費電力は一般的な掃除機1台分に相当し、ビンを下降させたり減速したりする際には、エネルギーがバッテリーへ回生されます。さらに、通路を必要としないコンパクトな設計により、照明が必要なエリアを最小限に抑え、エネルギー消費を大幅に削減します。平均稼働率99.6%と“ビルトイン”冗長性を備えたAutoStoreは、世界で最も信頼性が高く、効率的な保管システムです。